THE ENVIRONMENT & AGRICULTURE NEWS

# 環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

2021年(令和3年)
1月15日(金)
第227号

毎月15日発行
平成13年4月17日
第三種郵便物認可

**環境農業新聞購読方法**
年3,000円
毎月15日発行
FAX、メールでお申し込み下さい。
郵便振替口座　00150-2-290578

発行所　環境農業新聞社
編集発行人　成瀬一夫
東京都葛飾区東金町1-41-9
〒125-0041　フランス堂ビル3階
電話　03-3826-5212
FAX　03-3826-5217
年間購読料　3,000円(税・送料込)
郵便振替口座　00150-2-290578

# 豊受家族、明るくスタート!

## 自分の限界を超える 今年の書き始め

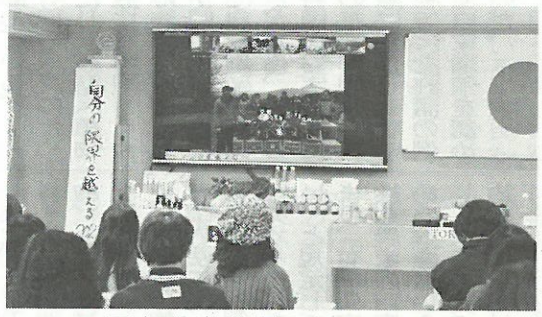
### 新春豊受トーク

## 懐かしさが原点

### 由井代表 日本人、立ち上がれ!

豊受家族、明けましておめでとうございます

書き初めを行う由井代表



函南、洞爺農場と中継リレー

抱負は嫁さん求める4人

由井寅子代表

1月5日、新春豊受トークが東京・世田谷の用賀で開催された。自宅配信も含め600名が参加した。

席上、由井寅子代表は書き初めを行い。「自分の限界を超える」と記した。続いて豊受※を100と北海道洞爺農場を繋いだ中継リレー。農場の様子や収穫された野菜とハーブから商品が作られる加工工場などが、豊受スタッフの生の声で伝えられた。

メインの特別講演は由井寅子代表が日本や世界で今起こっている大変な状況、未来を脅かす様々な危機について語った。

**大晦日に棒の峰に**

由井代表は大晦日に東京都西多摩郡奥多摩町と埼玉県飯能市との境にある標高969㍍の棒の峰に上り、マイナス10度の中、テントで過ごし新年を迎えたことを話した。

アメリカ大統領選挙の問題から始まり、グローバリストによる人類支配(世界統一化)の構図として、メディア・政治・医療などの問題点をピックアップし、それぞれの解決法を提案した。

太陽が上がり温かくなり、太陽の有難みを思い知らせられたと言う。それだけ寒かった。

講演はまずアメリカの大統領選挙で使われた票読み取りマーシンが68%もエラーが出るものが使われ、トランプ大統領を再選させてはいかんという声の下、不正選挙が行われた。そこには社会主義にもっていき、共産主義にしていこうという狙いがあると指摘。日本の票読み取りマーシンはムサシのものを使っているがエラーは出ていないのか。背景を考えると怪しい。由井代表は不正選挙を止めさせようと訴えた。

また、25年前にイギリスから帰って来た時、予防接種はやめようと話したら「医者を冒涜するのか」と聞いてくれなかった。農業もそう。「農薬や化学肥料を使わずできるのか」と本当に悔しい想いをした。

私は日本を愛し、日本が好きでニオイがある。それが今、実現していると熱く語った。

さらに由井代表は「懐かしさが原点」と言う。懐かしさの中に文化がある。自然農、太鼓を叩きたい、喜びをもって生きればいいんだ。そのことが伝播され、真心を持って接する姿勢の重要性を語った。

由井代表は色々な問題を話したが、中でも食品添加物の多さを指摘。日本人を家畜同様な扱いにしていることに怒りをもって話す由井代表の日本を駄目にしたくないという想う気持ちが伝わってくる内容だった。「日本人、立ち上がれ!」というメッセージを涙ながらに訴えていた。

最後に特別企画の新春プレゼント抽選会が行われ、その後、会場前の広場で力強い餅つきが行われ、ショップでの新春セール、オーガニックレストランで新春特別御膳など楽しんだ。

第4回 関西 農業Week

【構成展】
■農業資材EXPO　■6次産業化EXPO
■スマート農業EXPO　■畜産資材EXPO

会期:2021年2月24日[水]~26日[金]　会場:インテックス大阪　主催:リード エグジビション ジャパン(株)

1 農畜産分野 西日本最大!200社が出展 ※同種の展示会との出展社数の比較

- IT・スマート農業
- 農業機械
- 施設園芸資材
- 災害対策資材
- 畜産資材
- ドローン
- 肥料・土
- 農園芸ツール
- 食品加工機械
- 畜舎システム
- アシストスーツ
- 鳥獣害対策製品
- 植物工場
- 食品パッケージ
- 暑熱対策製品

…など

2 業界のキーパーソンによる全33講演!

スマート農業へのクボタの取組みと今後の方向
(株)クボタ 特別技術顧問 工学博士 飯田 聡

トヨタ自動車の農業への取組み
トヨタ自動車(株) アグリバイオ事業部 豊作計画推進室 室長 高田 大士

農業のIoT化が切り開く新たなビジネスチャンス
(株)日本総合研究所 創発戦略センター エクスパート 三輪 泰史

ロボット×ICTによるスマート農業の現状と課題
北海道大学大学院農学研究院 副研究院長・教授 野口 伸

ロボット、ICTを活用したスマート畜産の展開
宇都宮大学 農学部 教授 池口 厚男

これからの畜産経営に必要な臭気対策 脱臭技術と実例
(一財)畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所 研究統括監 道宗 直昭

敬称略。都合により講師、プログラムの内容が変更になる場合がございます。

招待券(無料)のお申込は 関西農業Week 検索
招待券をお持ちでない場合、入場料¥5,000/人

お問合せ リード エグジビション ジャパン(株) 関西 農業 Week 事務局 〒163-0570 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 18 階
TEL: 0570-550-625　E-mail: agri-k@reedexpo.co.jp